

平成15年度の決算状況

平成15年度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会で認定されました。市の財政の中心となる一般会計の歳入決算額は453億9千732万8千196円、歳出決算額が435億5千379万8千722円となりました。今月は、皆さんの税金が昨年度どのように使われたのかをお知らせします。

歳入

453億9千732万8千196円

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は、453億9千732万8千196円で、前年度に比べ1.7%増えました。

グラフ1はその内訳を表したものです。市税は、歳入の半分以上を占め、法人市民税などの増額で前年度比0.5%の増となりました。次に多

いのは市の借入金に当たる市債、続いて国庫支出金となっています。以下、繰入金、繰越金、県支出金、地方消費税交付金の順になっています。

表1は、市税を市民の皆さん一人当たりへ換算したものです。合計は15万1千678円で、前年度に比べ0.4%の増となりました。

▶ 諸収入(2.2%)...10億1,737万9,737円 ▶ 使用料及び手数料(2.0%)...9億80万6,291円 ▶ 国有提供施設等所在市町村助成交付金等(1.3%)...5億9,219万7,000円 ▶ 地方譲与税(0.9%)...4億1,459万4,000円 ▶ 自動車取得税交付金(0.8%)...3億8,200万7,000円 ▶ 分担金及び負担金(0.8%)...3億6,304万2,599円 ▶ 地方交付税(0.8%)...3億4,810万1,000円 ▶ 利子割交付金(0.4%)...1億7,069万1,000円 ▶ 財産収入(0.1%)...6,707万6,123円 ▶ ゴルフ場利用税交付金(0.1%)...5,006万9,165円 ▶ 交通安全対策特別交付金(0.1%)...3,001万5,000円 ▶ 寄附金(0.0%)...885万5,592円

地方特例交付金(2.5%)
11億5,203万6,000円

地方消費税交付金(3.0%)
13億5,078万4,000円

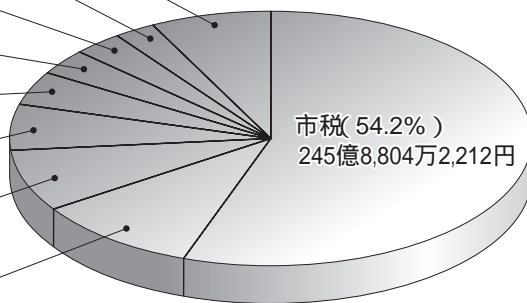
県支出金(3.2%)
14億3,987万3,150円

繰越金(4.2%)
18億9,284万7,201円

繰入金(5.7%)
25億7,996万8,527円

国庫支出金(7.7%)
35億2,484万2,599円

市債(10.0%)
45億2,410万0,000円



歳入総額(グラフ1)
453億9,732万8,196円

市民一人当たりが負担した市税

(表1)

項目	金額
市民税	7万6,863円
固定資産税	6万1,360円
都市計画税	6,877円
市たばこ税	5,805円
軽自動車税	771円
特別土地保有税	2円
合計	15万1,678円

歳入歳出総額

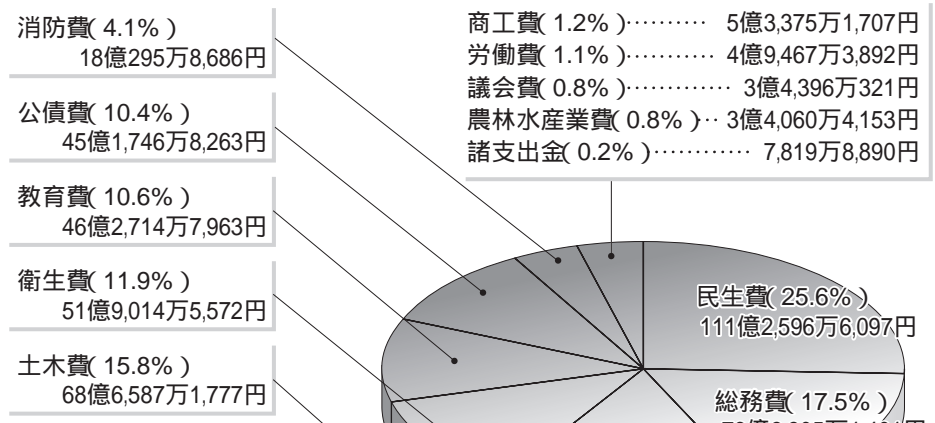
区分	歳入(円)	歳出(円)
一般会計	453億9,732万8,196	435億5,379万8,722
特別会計		
国民健康保険	114億1,346万6,999	109億7,055万8,827
下水道事業	44億5,531万8,665	41億6,306万9,284
老人保健	93億2,293万8,440	92億4,726万2,642
上広瀬土地区画整理事業	5億1,132万9,918	4億2,813万5,186
狭山市駅東口土地区画整理事業	12億6,050万1,110	11億2,562万4,504
介護保険	41億7,179万4,635	40億5,992万6,701
合計	764億8,267万7,963	735億4,837万5,866

重点事業の主な決算

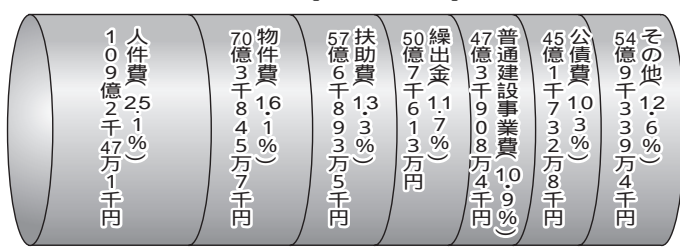
総務費 住民基本台帳ネットワークシステムの整備: 1千443万6千213円 戸籍管理システムの整備: 1千638万円 人間基地周辺共同受信施設設置事業: 4千971万3千7円 新狭山駅エレベーター等整備事業: 5千833万3千円 民生費 乳幼児医療費支給事業: 1億4千148万6千436円 老人保健福祉計画推進事業: 5千630万円 知的障害者入所更生施設整備事業: 2千500万円 乳幼児情報センターの充実: 2千11万4千363円 産後ヘルパー派遣事業: 169万7千円 延長保育事業の実施圏の拡大: 2千563万8千866円 預かり保育事業: 675万8千円 民間保育所の整備促進: 3千375万7千140円 学童保育室整備事業: 3千682万2千82円 親子交流スペース事業: 1千685万7千円 衛生費 自然エネルギー活用促進事業: 100万円 くぬぎ山地区自然再生事業: 4千420万円 緑地公有地化事業: 1億7千457万7千273円 生ごみリサイクルシステムの確立: 2千310万6千667円 粗大ごみ処理施設更新事業: 1千642万2千円 廃プラスチック類分別収集: 1千88万7千92円 却灰のセメント資源化事業: 1億4千622万7千196円 し尿処理施設更新事業: 5億1千443万420円 商工費 地域新事業創出基盤施設の開設: 512万9千円 産業振興ポータルサイト構築事業: 700万円

市民一人当たり
使われたお金 (表2)

項目	金額
民生費	6万8,633円
総務費	4万7,086円
土木費	4万2,354円
衛生費	3万2,017円
教育費	2万8,544円
公債費	2万7,867円
消防費	1万1,122円
商工費	3,293円
労働費	3,052円
議会費	2,122円
農林水産業費	2,101円
諸支出金	482円
合計	26万8,673円



歳出の性質別内訳(グラフ3)

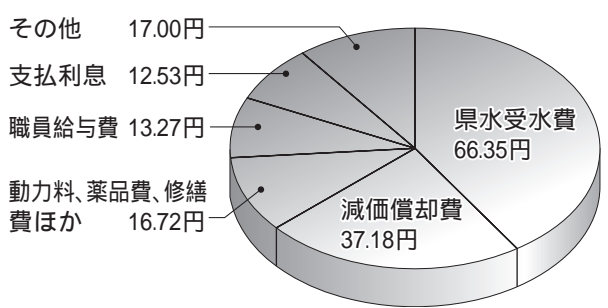


歳出総額(グラフ2)
435億5,379万8,722円

平成15年度 水道事業会計決算状況報告

平成15年度の水道事業会計決算が認定されましたのでお知らせします。

- 収益的収入と支出
収入 32億5,454万7,307円
支出 30億8,375万8,485円
利益剰余金1億4,173万4,061円は、減債積立金及び利益積立金に積み立てました。
- 資本的収入と支出
収入 1億7,875万0,620円
支出 10億1,348万6,104円
資本的収入が資本的支出に対して不足する額8億3,473万5,484円は、留保資金などで補てんしました。
- 給水原価の内訳
水道水 1 m³当たりの給水原価(製造価格)は、163.05円です。



問合せ水道業務課へ内線2312

歳出 435億5千379万8千722円

歳出は、市民皆さんのために使われるお金です。その決算額は、435億5千379万8千722円で、前年度に比べ1.9%増えました。

グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く、高齢者、障害者や児童などの福祉に係る経費が主なもので、前年度に比べ7.9%の増となりました。

グラフ3は、歳出を性質別に表したもので、職員給与が主となる人件費が最も多く、前年度に

比べ1.1%増えています。続いて物品の購入や業務委託などの経費である物件費、福祉サービスなどに使われる扶助費の順になっています。

表2は、目的別歳出を市民の皆さん一人当たりで換算したものです。合計は26万8千673円で1.8%の増となりました。なお、歳入歳出の差額は、平成16年度に繰り越しました。

問合せ財政課へ内線7112

- 店舗・住宅リフォーム補助事業：196万4千円
- 新規成長産業連携支援事業：485万9千200円
- 土木費 大規模流通業務施設立地区域排水施設工事：3千355万5千円
- 狭山市駅西口市街地再開発事業：2千688万円
- 新都市機能ゾーン整備事業：5億4千570万1千259円
- 柏原新狭山線整備事業：4億8千923万3千566円
- 狭山市駅野線整備事業：3億2千836万57円
- 新狭山駅南口線整備事業：1千303万4千549円
- 消防費 消防機械整備事業：1億2千18万6千円
- 教育費 外国語早期教育推進事業(特区)：546万7千118円
- 狭山フレッシュ支援事業：22万1千500円
- 情緒障害通級指導教室指導員事業：105万円
- 校舎大規模改造事業：8千820万円